

君の少しの優しさで 「ありがとう」が あふれ出す



東濃西部少年センターからのお知らせ

指導員による声かけ活動

少年センターでは、青少年育成国民運動の理念に基づき、子どもや若者の健全な育成のために彼らとの信頼関係を築く「声かけ（指導）活動」に取り組んできました。

今回は、200人の指導員が年間を通して組織的・継続的に取り組んできた活動の状況を紹介します。

かつての不良行為や非行の防止を主とした補導から、すべての子どもや若者の健全な育成を第一とする指導に軸足をおき、近所のおじさん・おばさん感覚での、あいさつ・はげまし・ねぎらいなどの「声かけ」に力を注ぎました。その結果、各地区からは、23年度にも増して、子どもや若者と明るく気持ちのよいあいさつができるようになったとの報告が目立っています。これは、声かけ活動への見直しや工夫が、確実に進んできた結果であると言えます。

こうした活動の積み上げが、彼らとの信頼関係を深めることにつながり、困った場面に直面しても、対処できる力になるのだと信じています。

さて、この声かけ活動は、平成24年5月から12月までの8カ月間で、指導員が34の班に分かれ、延べ296回実施しました。その結果、当たり前の声かけだけでは済まない、注意（指導）にまで踏み込んだ事例は、下表の通り、喫煙・危険な遊び・自転車に関することなどで、総件数は年々減少しています。

また、花火大会や夏まつりが集中した7・8月の期間は、午後9時から午後10時30分までの時間帯に、イベント会場や駅周辺で夜間の特別街頭指導を実施しました。この間各地区では、一部の若者による、たむろや喧騒などの迷惑行為も見られましたが、関係機関や各種団体の積極的な取り組みもあって、大過なく過ごす事ができました。



JR多治見駅南北連絡線(自由通路)での啓発活動

●行為別の指導状況

(単位：人)

男女別	年度別	喫煙	危険な遊び(※1)	その他	迷惑行為(※3)		合計
					自転車関連(※2)		
男子	23年度	42	0	61	36	25	103
	24年5～12月	10	14	45	22	23	69
女子	23年度	19	0	31	4	27	50
	24年5～12月	7	7	14	3	11	28

※1 道路上でのサッカー・ドッジボール・スケボー等の遊び、公園・河川敷等での危険な花火等

※2 二人乗り、並進、無灯火、高校生の携帯電話片手走行、小学生のヘルメット無し、危険走行等

※3 駅前・駅売店・駅トイレ・コンビニ等にて、たむろ・居座り・飲食・化粧等する迷惑行為